Excelの計算式でさまざまな理由でエラーが出てしまうことがありますが、画面上ではエラーが表示されていてもよいけれど、印刷して配布するときには隠したいなんてことありませんか?そんなときはこの機能を使えばきれいに印刷することができちゃうんです。

例)以下のようにエラー値(#DIV/0!)を含むデータがあった場合

	А	В	С	D		
1	支店別売上管理表(昨対比)					
2						
3	支店名	2021年度	2022年度	昨対比率		
4	札幌支店		280	#DIV/0!		
5	東京本店	1,000	1,050	105.0%		
6	横浜支店	800	900	112.5%		
7	名古屋支店		450	#DIV/0!		
8	大阪支店	700	750	107.1%		

「ページレイアウト」タブ→ 右下の端の矢印をクリック



ページ設定の画面が開いたら、「シート」タブ → セルのエラーのところで「<空白>」を選択し「OK」をクリック

ページ設定				?	\times
ページ 余白	ヘッダー/フッター	シート			
印刷範囲(<u>A</u>): 印刷タイトル					Ť
ቃイトル行(<u>R</u>):					Ť
ቃイトル列(<u>C</u>):					Ť
印刷					
□ 枠線(<u>G</u>)	לכא⊏	(<u>M</u>):	(なし)		\sim
□ 白黒印刷(<u>B</u>) □ 簡易印刷(<u>Q</u>) □ 行列番号(<u>L</u>)	セルの:	ĭ∋−(<u>E</u>):	表示する <u>表示</u> する <空白>		
ページの方向			#N/A		~
● 左から右(<u>D</u>) ○ 上から下(<u>V</u>)					

印刷(P	?) 印刷プレ	ビュー(<u>W</u>)	オプション(<u>0</u>)
		ОК	キャンセル

すると、データ内のセルの見た目に変化はありませんが、印刷の画面からプレビューを確認するとエラーのセルが空白になっていることが確認できます。これをそのまま印刷すれば、印刷したデータにはエラー値が表示されなくなります。

支店別売上管理表 (昨対比)

支店名	2021年度	2022年度	昨対比率
札幌支店		280	
東京本店	1,000	1,050	105.0%
横浜支店	800	900	112.5%
名古屋支店		450	
大阪支店	700	750	107.1%

